

2023年10月23日

各位

株式会社南青山不動産

コスモエネルギーホールディングス株式会社が2023年10月19日付けで発表した
「大規模買付者からの質問に対する当社見解について」に対する弊社の見解

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

コスモエネルギーホールディングス株式会社（以下「コスモ社」といいます。）が2023年10月19日付けで発表した「大規模買付者からの質問に対する当社見解について」に対する弊社の見解は、以下のとおりです。

1 弊社及び野村絢氏（以下「買付者」といいます。）の質問1に対するコスモ社見解について

コスモ社は、買付者及びその共同保有者（以下「買付者ら」といいます。）による17.41%までの買付けについて、「一般株主に対して強圧性が生じる（投資判断をするのに必要な情報や時間が与えられずに、売却への圧力が生じる）ことは明らかである」と主張していますが、2割にも満たない買付けによって強圧性が生じ、売却への圧力が生じるとは考えられません。実際には、これまでコスモ社経営陣によりコスモ社の株価が割安に放置されていたところ、買付者らによるコスモ株式の買付けとコスモ社に対する働きかけによりコスモ社の株主価値向上に対する期待感が増し、市場では買い意欲が増加していたのであり、現実には株価は上昇傾向を続けていました。コスモ社の主張は、理論的にも、現実の発生した事象にも反しており、誤りです。

2 買付者の質問2に対するコスモ社見解について

質問1に対するコスモ社の見解は、買付者らの買付けにより一般株主に対して「売却への圧力が生じる」というものであったにもかかわらず、質問2に対するコスモ社の見解は、コスモ社の6月22日定時株主総会における第5号議案可決、及び買付者による7月27日付け趣旨説明書の提出直後の株価の騰落は、あくまで短期的な「需給バランス」の変化によるものと述べており、「強圧性」を含むその他の要素については影響が軽微であったと自ら述べているようなものです。

このように、コスモ社自身が本買付けについて強圧性は軽微であると判断しながら、本買付けについて買収防衛策の発動を検討していることは極めて非論理的であり、さらに、本総会及びコスモ社取締役会が現在検討している買付者の本買付けについての株主意思確認総会で仮にMOM決議が行われるようなことがあれば、これは単にコスモ社の経営陣による自己保身のための濫用であると言わざるを得ず、言語道断であると考えます。

3 買付者の質問3に対するコスモ社見解について

コスモ社の見解は、取引先等のいわゆる「与党株主」を一般株主であると強弁するものであり、不合理というほかありません。2023年6月定時総会のMOM決議は、コスモ社経営陣の方針に賛同しない買付者らの議決権行使を排除する一方、コスモ社経営陣と友好的な関係にある取引先等の「与党株主」の議決権行使は認めるという、極めて不公正なものでした。コスモ社は、取締役等の議決権についても除外したと主張していますが、これらの議決権は議決権割合として極めて微々たるものであり、MOM決議を何ら正当化するものではありません。

4 買付者の質問4に対するコスモ社見解について

大豊建設が2022年5月25日に公表した「自己株式の取得及び自己株式の公開買付けの開始に関するお知らせ」によれば、第三者割当増資については、買付者らが積極的に提案したわけではなく、協議を重ねる中での代替案、譲歩案として示したものに過ぎないことは明らかです。

にもかかわらず、コスモ社は、大豊建設の上記リリースの具体的記述を考慮せず（あるいは敢えて無視し）、あたかも買付者らが積極的に第三者割当増資を提案したかのような前提での質問を繰り返しています。

5 買付者の質問5に対するコスモ社見解について

まず、コスモ社は、「本情報リスト第7の17.に対する回答において、①～⑥として列挙されている提案について、これまで①及び②以外の提案については、ほとんど（あるいは全く）対話の俎上にも挙げられておりませんが、このタイミングで突如として提案されるに至った理由についてご教示ください。」と述べて、①から⑥までの全てについて現実に提案がなされたという前提で質問をしているのですから、その一部については現実に提案があったというだけでは、全く反論になっていません。

また、コスモ社は、今回の見解では「以前より、大規模買付者らから当社に対し、仮定の話としてではなく、実際に、同趣旨の内容の提案がなされています。」と主張していますが、この主張は、「このタイミングで突如として提案されるに至った」という上記の質問における主張と全く矛盾しています。

そして、「①ないし⑥の提案を行う可能性があるというだけで、貴社に対する支配権を得ようとする意図があるということになるわけがありません。」という点については、今回の見解でも全く反論がなく、コスモ社としても非論理的な質問であったと認めざるを得なかったものと考えられます。

敬具